

津山市教育振興基本計画

津山市の教育が目指す人づくり

- ①国際社会を生き抜くため、確かな学力を身につけ、生涯にわたって向上心に燃え、自分自身の道を切り開く人
- ②心身ともに健康で、自己を認め、互いの人権を尊重する豊かな人間性を備えた人
- ③愛情あふれる家庭を築き、人や地域とのつながりを大事にし、自己の力を地域に活かし、いきいきと活動することができる人
- ④津山の自然・歴史・文化・社会をかけがえのないものと感じ、郷土に誇りを持って次世代に伝えることができる人

教育基本目標

- 1 個の確立をつなぐ力を育む (幼児・学校教育)
 - 1-(1) 幼児教育の充実 ①教育内容の充実と環境の整備
 - 1-(2) 義務教育の充実 ①確かな学力の向上 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 ④特別支援教育の充実 ⑤開かれた学校づくり
 - 1-(3) 教育環境の充実 ①安全・安心の学校づくり ②安全・安心に配慮した学校給食の充実 ③良好な教育環境の維持・向上 **【重点取り組み 17件】**
- 2 身近な人びとのつなぐ力を育む (家庭・地域教育)
 - 2-(1) 青少年の健全育成の推進 ①青少年健全育成の総合的な推進 ②相談、支援体制の整備と社会参加の促進
 - 2-(2) 家庭・地域の教育能力の向上 ①学校・家庭・地域が連携した教育の推進 ②家庭教育への支援 ③地域資源を活用した学習の推進 **【重点取り組み 5件】**
- 3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む (生涯学習・スポーツ・文化)
 - 3-(1) 生涯学習環境の整備 ①生涯学習の推進 ②学習情報・機会の提供 ③拠点施設の整備 ④生涯学習成果の活用
 - 3-(2) スポーツ活動の支援と施設の活用 ①生涯スポーツの振興 ②スポーツ環境の整備 ③競技力の向上
 - 3-(3) 芸術文化の振興、文化財の保存と活用 ①市民文化の創造と継承 ②文化環境の整備 ③文化財の保存と活用 ④郷土史学習の推進 **【重点取り組み 12件】**

「つなぐ力」とは

「つなぐ力」とは、家庭や学校、地域が一体となって人を育み、過去から未来へ歴史をつなげていく力のことです。また「つなぐ力」は個人の学びから一歩抜け出し、学びの成果を広く社会に還元することで個人と地域社会を結びつける力でもあります。わたしたちは、今後もこれらのつながりを強めていかなければなりません。さらに、社会はどんどん、グローバル化・国際化が進んでいきます。このような現代社会の中を生きていくためには、さまざまな人と分り合う力も必要です。



対談

つなぐ力が人をつくる

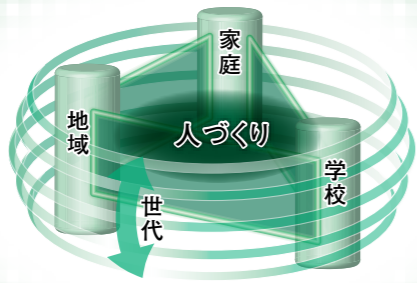
市教育振興基本計画検討委員会 委員長 松岡 信義(写真右)
市教育委員会 教育長 田村 芳倫(写真左)

田村 今回の教育振興基本計画を策定する時期が、上位計画である第4次総合計画・後期実施計画の策定期間と重なり、同時進行で進められたことはタイミングがよかったと感じています。



市の教育が抱える問題を分析して、分かってきた課題にどう対処するかを検討しました。大切なことは、学校、家庭、地域をつなげていくことにあると感じています。

松岡 この計画は市の教育を今後どのように進めていくかを決める大切な計画です。会議では、この基本理念をどうするかということに時間を費やしました。



現在、市では、さまざまな教育施策が行われています。それらの施策は何のために行われているのかも踏まえて、全体を貫く理念とは何かを考えました。そして、現在行っている個々の施策をつなぐことが大切だということを出しました。



田村 この理念は津山の歴史や文化、自然、人などを加味しながら導き出されていますね。

この計画で津山市の将来に明るい展望が持てるようになればと考えています。

松岡 「つなぐ」という言葉にはさまざまな思いが含まれています。

例えば、地域での教育活動には、関わっている人たちの献身的な努力があつてこそ成り立っています。そういった人たちの交流を深め、つなぎ合わせることで、よりしっかりとした教育ができます。

また、公民館の活動でも、それぞれが素晴らしい活動を行っています。地域で行っているそういったものが交流すれば、お互いを高め、いかにできるのではないかと考えています。

さらに、歴史を知ること、これも大切だと思つています。つまり、世代と世代をつなげるということです。

津山には誇れる歴史や文化がたくさんあります。これを伝え、つなげていくことも大切な教育だと思います。家庭や学校はもとより、個人や地域、そして世代が相互につながりあつて津山らしい教育というものが生まれてくると思つています。

(質問)

つなぐ力を育むためには具体的にどのような取り組みをしていけばよいのでしょうか？

(答え)

今回、策定した計画は、3つの目標と8つの施策、そして34個の重点取り組みによって体系化されています。特徴的な重点取り組みを例に説明します。

目標1 個の確立をつなぐ力を育む (幼児・学校教育)

就学前教育と小学校教育の連携
子どもたちの発育や学びの連続性、教育の質を高めるため、保育園(所)や幼稚園、小学校の交流の機会を設けるとともに、職員との合同研修を行います



小中学校の連携の強化

学力を向上させるため、中学校ブロックを単位として生徒指導や基礎学力の定着など小学校と中学校が共通した取り組みを行います



目標2 身近な人びとのつなぐ力を育む (家庭・地域教育)

学校支援ボランティアの活用
地域に住むさまざまな特技や技能を持った人たちが子どもたちと関わることで、地域と学校とが協力して子どもたちの生きる力を育みます



目標3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む (生涯学習・スポーツ・文化)

生涯学習人材バンクの充実と体制整備
生涯学習を推進していくため、知識、技能を持った人材を発掘して、その知識や技能を伝えていきます

